

# エブリスタディ

小4

5月号



いちりんしゅ  
●一輪車

## スリーアール ● 3Rとじゅんかん型社会

近年、3Rという考え方が注目されています。3Rとは、ごみをできるだけ出さないようにし、ごみそのものをへらすリデュース、ものをくり返し使うリユース、ごみをしげんとして再利用するリサイクルの3つのことです。この3つの言葉を英語で書くと、どれも最初の文字が「R」で始まります。

3Rは、しげんを大切にし、使ったものを再利用してかんきょうを守りながらくらすじゅんかん型社会をつくるために大切な考え方です。国は、じゅんかん型社会形成推進基本法という法りつを定め、じゅんかん型社会をつくる取り組みを進めています。



### やってみよう

次の( )に、3Rとよばれるリデュース、リユース、リサイクルのうち、それぞれどの言葉があてはまるか考えてみましょう。

- ① ( ) …古紙やペットボトルを回しゅうして新しい製せい品ひんをつくるなど、ごみをしげんとして再利用すること。
- ② ( ) …買い物のときはレジぶくろをもらわないようにするなど、ごみそのものをへらすこと。
- ③ ( ) …いらなくなったものをフリーマーケットでほしい人に売るなど、ものをくり返し使うこと。

### ココが大切!

- ・アルミかんや紙のリサイクルは、エネルギーの節約せつやくや森林のほごにつながる。
- ・容器包装ようきほうそう、家電、自動車などのリサイクルを進めるための法りつがある。
- ・リデュース、リユース、リサイクルの3つを合わせて3Rという。
- ・3Rは、じゅんかん型社会をつくるために大切な考え方である。

答えは「答えと考え方」